

能登教務所通信

7月

教区教化テーマ

人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

教区教化事業のご案内

◆こころの広場 兼 大谷大学講演会◆ 同朋会推進部門・大谷大学同窓会能登支部

- ・日 時 2022年7月16日(土) 午後2時～午後4時
- ・講 師 中野 加奈子 氏(大谷大学准教授)
- ・申 込 事前に教務所までお申込ください
- ・参加費 500円

◆暁天講座◆ 同朋会推進部門

感染拡大防止対策として2か年度休止していましたが標記講座を、日程等を変更して再開いたします。詳細は、同封のチラシをご参照ください。

- ・日 時 2022年8月1日(月)～3日(水) 午前6時～午前7時
- ・テーマ 人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん(教区教化テーマ)
- ・講 師 1日 藤懸 了世 氏 (4組常德寺・布教伝道研究会)
2日 川岸 敬巖 氏 (8組林敬寺)
3日 豊富 高宏 氏 (14組宿善寺)
- ・備 考 終了後、軽食(パンと飲み物)をご用意いたします。

教化事業・その他行事のご報告

◆お寺サポートうかがい隊兼教区青年研修会◆ 総合教化本部・青少幼年部門

去る6月14日(火) 珠洲市の勝楽寺において、第3回お寺サポートうかがい隊兼青年研修会が開催されました。講師に佐野明弘氏(加賀市光闡坊)を迎えて講義していただきました。参加者は珠洲市内の寺院関係者8名、青少幼年部門部員4名、能登教務所員5名の計17名でした。

今回の研修内容は、前半の1時間が講義、後半の1時間が質疑応答という流れで進められました。講義では、私たちの仏法をいただく姿勢について佐野氏の体験談を交えながらお話いただきました。質疑応答では、各々が抱えている真宗の教えの疑問点について答えていただきました。

今回の研修を通して、「自分自身にとって真宗とは何か」を改めて問うていかねばならないと強く感じました。

(第11組 善正寺 慈耆一生 記)



◆2022年石川県能登半島沖地震について◆

2022年石川県能登半島沖地震により、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。現在、能登町・珠洲市の寺院23カ寺から、壁の一部剥落や墓石・灯籠の倒壊等の被害が報告されております。

教区教化テーマについて

第51回教区同朋大会 兼 慶讃法要教区お待ち受け大会において発表された、能登教区の新たな教化テーマ「人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん」をより深めていくため、今月号より教化テーマに関する連載コラムをスタートします。

「人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん」に寄せて

立教開宗八百年とは、真宗の教えを伝えてきた八百年の歴史でもあり、また、お念仏によって救われてきたいのちの歴史八百年でもあります。

それは、私たちの先人たちが能登の大地に生まれ支えられて、御同行親鸞と共に、お念仏のつながり(僧伽)に生かされてきた歩みです。そしてその「救いの歴史」は能登の土徳となって、今、私たちに届けられています。

土徳とは、その地域が持つ「人を育てる力」のことではないでしょうか。自然の環境(地形や気候)や歴史(いのちの営みの積み重ね)は、その地域独自の文化や生活習慣を育んできました。それらが大地となり、そこから人間を養育する力が生み出され、脈々と受け伝えられてきたということがあります。その場に身を置いただけで、自分の考えや願いや選びに関わらず、いつの間にかこの身に着いていたということがあります。例えば、聞こうと思わなくても、お念仏の声が聞こえていた。学ぼうと思わなくても、仏法の言葉が身に染み込んでいた。そういうことが、土徳ということだと思われま

「仏様とのご縁を教えてくださいました。」

これは、新聞(2018年10月、北陸中日新聞)のお悔やみの欄に「遺族の話」として載っていた言葉です。喪主をつとめた孫娘の方が、亡くなったお婆さんを偲んで語ったものです。新聞を読んでいた時にたまたま目に入ってきた記事で、事情は全く分かりませんが、読んでビックリした覚えがあります。「能登にはこのような言葉を生む力があるのだ」と。

亡くなった人を偲ぶ言葉にはいろいろな表現があります。また、仏教に深く関わっていたという姿を偲ぶ時も、「お寺参りを喜んで」とか「お寺のお世話をよくしていた」とか。さらには仏教のことを教えてくれたという場合も、「仏法の教え」を話してくれたというような表現が普通に思い浮かびます。

しかしこの方の場合そうではなくて、お婆さんは「仏様とのご縁」を教えてくださいましたと言うのです。それは、仏教の教えが単にありがたい教えであるということではなくて、私が救われるのかどうか、そのことが仏様と私との一大事になっている。そういう、切っても切れない深いご縁の教えであるということを教えてくださいました、ということでしょう。「仏様とのご縁のある身だった」と頷くことは、仏様が「撰(おき)め取って捨てず」と呼び掛けているのは、他でもない、この私のことだったと頷かされたということなのです。

このような仏様と私との出遇いの言葉が生まれている。まさに「救いの歴史」が、いのちと共に受け継がれ、能登の大地に息づいているように思います。その真ただ中に、私たち一人一人は、今、人として生まれ出ているのです。

私とは、人とは…。そして、共に生きるとは…。この問いを持って、親鸞の言葉や生涯のお姿と対話しながら、私たちの「救いの歴史」をつないでいきましょう。

文責:大窪 祐宣(総合教化本部長)

◆第6回地方協議会◆

去る6月7日(火)、第6回目となる能登・金沢教区地方協議会が開催されました。能登教区改編委員会から中央改編委員会へ要望書を提出することを受け、その内容の重要性から、地方協議会として要望書を提出することが決定しました。

要望書の内容としては、新教区発足時期について、時期の延長を要望する内容となっております。

また、地方協議会作成資料の「能登・金沢教区改編に向けて」について、両教区周知を行い、能登教区改編委員会より意見書の提出がなされたことを受け、今後、地方協議会に課題別の分科会を設置し、両教区の教区改編委員会代表者による協議を行うことを決定いたしました。

※地方協議会作成の要望書は、2022年度能登教区教化事業連絡冊子に掲載する予定です。

◆慶讃テーマ、教区教化テーマ看板設置◆

宗派が慶讃法要に向けて発信している「慶讃テーマ」と、第51回教区同朋大会兼宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要教区お待ち受け大会において発表された新しい「教区教化テーマ」が、一人でも多くの人目に触れることを願い、教務所前（大谷済美センター側の法面）に屋外看板が設置されました。



宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ
南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

宗祖親鸞聖人
御誕生
立教開宗
真宗大谷派（東本願寺）

能登教区教化テーマ

人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

本山・教区事務についてのご連絡

◇教務所事務休止のお知らせ◇

コロナウイルス感染防止並びに暑さ対策の観点から、教区門徒会並びに教区会、正副組長会を外部会場で行うこととしました。

つきましては、下記のとおり教務所を事務休止といたします。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承ください。緊急の際には下記教務所携帯電話までご連絡ください。

<事務休止日>

7月26日(火) 教区門徒会 終日事務休止
7月27日(水) 教区会 終日事務休止
7月29日(金) 正副組長会 午後事務休止

緊急連絡先携帯番号 090-5685-5611

◇人事異動について◇

7月1日付で、越岡慈縁(能登教区駐在教導)が高田教務所へ異動いたしましたので、ご報告します。

転任挨拶

7月1日付をもって高田教区駐在教導を拝命し、転任いたすこととなりました。能登教区では、教区雇員として約5年、教区駐在教導として約5年、旧大谷済美幼稚園での勤務を含めると合わせて約20年の長い間、教区の皆様には大変お世話になりました。このたびのことで、ある法座で講師から「役や座・場に就くということは、その役や座・場にお育てをいただくこと」とお聞きしたことを改めて思い出し、私自身これまでたくさんの方にお会いし、関わりを持たせていただいたことで、お育てを賜りましたことに深謝申し上げます。

本来ならばお伺いをして御挨拶申し上げるべきではございますが、書中にて御礼とさせていただきます。ありがとうございました。

高田教区駐在教導 越岡慈縁

◇本山経常費完納寺院◇(2022.5.1～5.31迄)

2021年度本山経常費をご完納いただき、ありがとうございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

| | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 第3山方組 | 浄嚴寺 | 徳満寺 | 第7組 | 光榮寺 | 長樂寺 |
| 第6組 | 立善寺 | | 鵜川組 | 光明寺 | |

◇住職就任◇(教区通信6月号掲載以降)

第8組 聞信寺 豊富 泰子 2022年5月28日

第13組 福勝寺 長谷部 淳馨 2022年5月28日

◇代務者就任◇(教区通信6月号掲載以降)

穴水組 法性寺 前田 千尋(第7組照福寺衆徒) 2022年5月31日

◇敬弔◇(教区通信6月号掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第8組 長榮寺 前坊守 泉口 安子 2022年6月3日

第10組 浄正寺 住職 貞廣 深詔 2022年6月4日

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。

発行責任者 能登教務所長 竹原 了珠

発行日 2022年7月1日

能登教区教化テーマ 人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

慶讃テーマ 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

能登教区ホームページアドレス URL <http://ohigashi-noto.jp/>